

武蔵野市気候市民会議 (第5回)

令和4年11月22日

武蔵野市気候市民会議 について

実施体制

武蔵野市気候市民会議

参加者

68人

アドバイザー

- ・ 東京大学未来ビジョン研究センター教授
国立環境研究所 上級主席研究員
江守正多氏

事務局

- ・ 武蔵野市環境政策課

グループ討議支援・オンライン対応

- ・ アオイ環境(株)

背景

近年、地球温暖化が原因とみられる異常気象が多発
2050年に向けて、私たちの暮らしの中でも、「大きな転換」が必要

武蔵野市気候市民会議

- 地球温暖化・気候危機問題を共有し、脱炭素社会を目指してその対策について話し合っていく場。
- 気候変動問題の当事者としての「気づき」や「変容」を市全体へ広げていく

武蔵野市

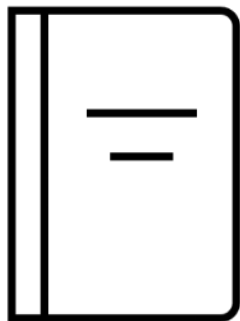
2050ゼロカーボンシティ表明
(令和3年2月表明)

武蔵野市地球温暖化対策
実行計画(事務事業編)
(令和4年4月改定)



気候危機打開武蔵野市民
活動プラン(仮称)
(令和5年4月作成予定)

目指すこと



武蔵野市気候市民会議

無作為抽出などによって選ばれた市民が、
地球温暖化・気候変動対策について話し合う

(全5回：令和4年7月～11月)

- ① 市では、会議の議論を踏まえ、市民一人ひとりの環境配慮を示す「気候危機打開武蔵野市民活動プラン（仮称）」を作成
- ② ご意見を参考に支援の取組を行うことにより、市民の行動を後押し

全体スケジュール

	第 1 回 (7 月 26 日)	第 2 回 (8 月 23 日)	第 3 回 (9 月 27 日)	第 4 回 (10 月 25 日)	第 4 回 後	第 5 回 (11 月 22 日)
説 明	ガイダンス	前回の確認、 本日の進め方	前回の確認、 本日の進め方	前回の確認、 本日の進め方	これまでの議論をふまえたテーマ別アンケート	前回の確認、 アンケート結果 報告
講 演 (25分～30分)	講演・対話 地球温暖化の 現状とこれか らの社会 東京大学未来 ビジョン研究 センター教授 ／国立環境研 究所 上級主席 研究員 江守正多氏	テーマ別講演 モノを買う、 使う、手放す (公財) 消費 者教育支援セ ンター 柿野 成美氏	テーマ別講演 動く・働く (学ぶ)・遊 ぶ 国立環境研究 所 社会シス テム領域 (地域 計画研究室) 室長 松橋啓介氏	テーマ別講演 住まいのエネル ギー 東京大学大学院 工学系研究科建 築学専攻 准教 授 前 真之氏		市の現状と 取組の紹介 武蔵野市 環境政策課
グルー プ討議 (65～80分)	2050年ゼロカーボ ンシティ実現後の 武蔵野市の姿	モノを買う、使 う、手放す	動く・働く (学 ぶ)・遊ぶ	住まいのエネル ギー		2050年の武蔵野 市 (脱炭素社 会) に向けて、 広めていきたい 取組 ふりかえり

参加者交流
目線合わせ

テーマ別のグループ討議

ふりかえり・まとめ

プラン作成の流れ

市では、会議の議論を踏まえ、市民一人ひとりの環境配慮を示す
「気候危機打開武蔵野市民活動プラン（仮称）」を作成します。

武蔵野市 気候市民 会議

第2回～第4回の
討議結果＋追加意見



第4回 終了後 アンケート

各回の討議結果から、
環境配慮・取組を
項目立て

それぞれの項目に対し
回答

例

Q 1. ○○を△△する

- ・取り組むべきと思うか
(思う-----思わない)
- ・実践の難しさ
(難しい-----簡単)

アンケート 結果

アンケートの結果を
第5回会議にて発表
＋分析

<目的>

- ・プラン作成に向けた傾
向の把握
- ・多様な視点の共有

第5回会議

アンケートの結果を
もとに振り返る

<GW>

- ・なぜ取り組むべきと考えた／
考えなかったか
- ・何を目標として取り組むのか
- ・実行していくために何が必
要か など

武蔵野市の特徴などの
情報提供

武蔵野市気候市民会議報告書

懇談会
令和5年
1月22日(日)
予定

武蔵野市気候危機打開武蔵野市民活動プラン（仮称）

本日の進め方

本日のスケジュール

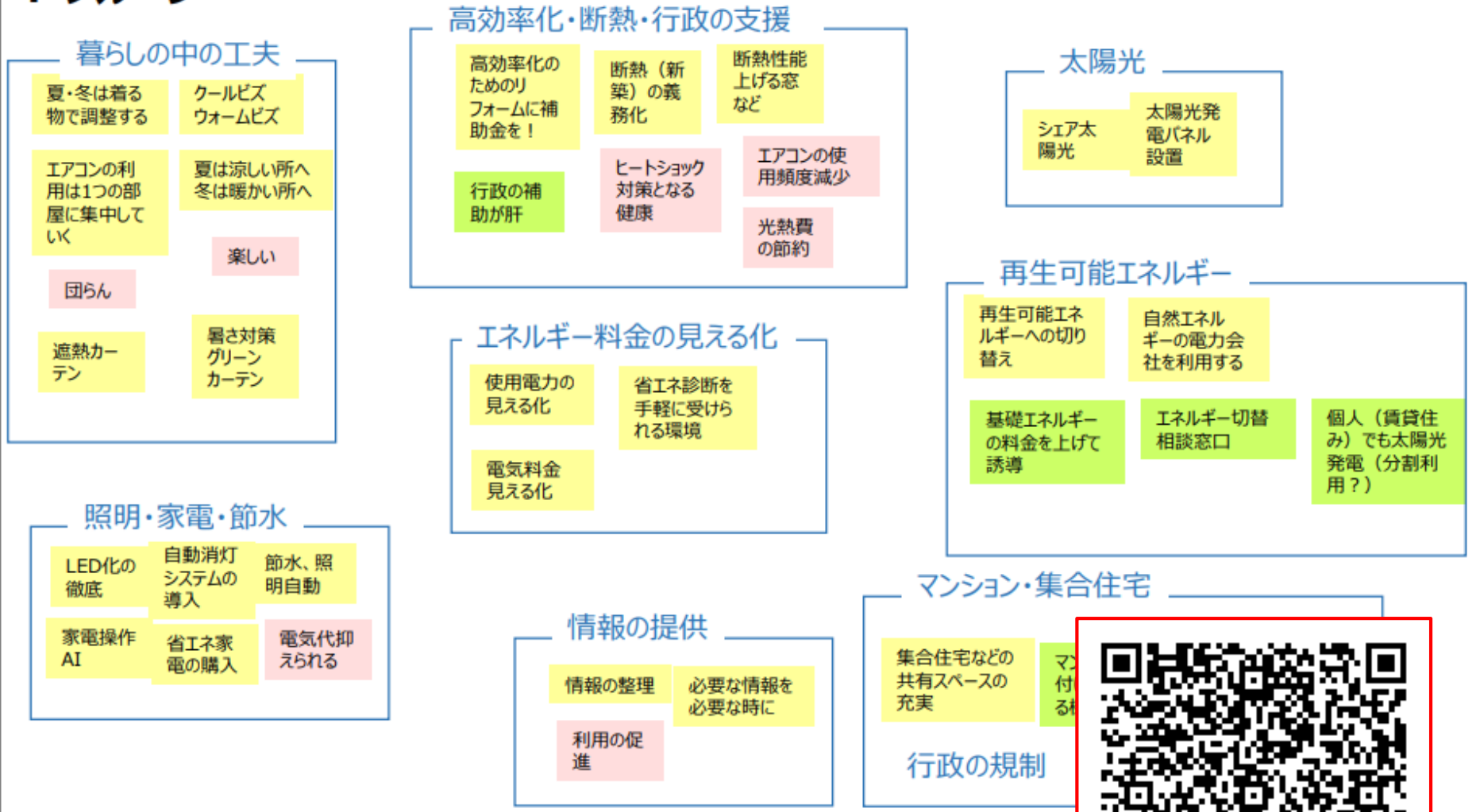
時間	内 容		全体/グループ別 (記載無し=全体)	録画 公開
18:30	開会			WEB
	ガイダンス	本日の進め方、前回の振り返り他		WEB
18:40	アンケート結果報告、 市の現状と取組の紹介			WEB
18:55	グループ討議 (メンバー入れ替え)	テーマ「2050年の武蔵野市（脱炭素社会）に向けて、広めていきたい取組」	グループ別	
19:50	発表	グループ代表から発表	グループ別	WEB
20:05	総評			WEB
20:15	振り返り（個人）	各グループ内で会議全体を通した振り返り	グループ別	
	その他	事務連絡		
20:30	閉会			

前回（第4回市民会議） の振り返り

①グループ討議結果

Fグループ

令和4年10月25日 第4回武蔵野市気候市民会議 討議テーマ「住まいのエネルギー」



https://www.city.musashino.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_001/040/746/g04.pdf



②講演に対する質問、回答（前先生）

No	質問
1	気候変動問題を考えた場合、例えば 床暖房 を入れるときにガスと電気ではどちらがいいのでしょうか？ 電気<ガス<再エネ電気<自宅太陽光発電の順でCO ₂ 排出量は減りますか？
2	二重サッシのお話をされましたが、 二重ガラス の方が手間（掃除）がかからず、遮音も熱効率も良いと実感しています。コメントがなかったのです。
3	高効率設備 のうち、最も技術的に成熟していると考えられるのは、何ですか？
4	高技術 に関する講師の考え方をを知りたかった。
5	省エネのためには 省エネ家電 への買い換えを推奨することをよく耳にしますが、LCAの視点まで考慮すると必ずしも買い替えが正しいとは思えません。長く使うことも大事だと感じています。製品によって異なると思いますが、トータルで環境負荷を減らすためにはどれくらいの年数以買い換えるのがいいのでしょうか？
6	自宅での太陽光発電 について、パネルの耐用年数やメンテナンス方法などが気になります。台風や豪雨の影響で寿命が短くなったりしないのでしょうか。処分の際にCO ₂ が排出されたり、ゴミが増えるなど、地球環境に悪影響はないのでしょうか。
7	太陽光発電以外に 都市型再エネ発電 で有効な発電はありますか？ 下水を利用して水力発電なんかは難しいですか？
8	ZEHを目指すとして(費用対効果的視点で)「断熱」「省エネ機器」「太陽光発電」に優先順位をつけるとどのようになるのか？
9	ZEH住宅にする為に断熱性能を高めることはコストが高く 、ソーラーのメンテナンスや耐用年数を考えると高性能の物はかなりコストに響くので、風力、水力、海洋も含めて蓄電性能を高め、電気を効率よく貯めておけるかが一番普及し易いのではないかと...という建築士さんの意見をきいたのですが。よろしければ先生のご意見も伺えたらと思います。
10	一戸建て住宅の省エネについては良く分かりました。一方、マンション、賃貸住宅、業務部門（オフィス、商業ビル、飲食店など）の冷暖房の省エネ化についてどうするか。

②講演に対する質問、回答（前先生）

No	質問
11	今回のテーマ（住まいのエネルギー）については、 持ち家一軒家以外は、制約が多く 、取りうる手段の限界を感じた。広く普及できるような、エネルギー関連商品の開発を期待します。
12	これから 賃貸物件の断熱等級 を上げるにはどんな仕組みが有効でしょうか？
13	日本は建築物(建物)のスクラップ&ビルドが激しすぎるのではないかとヨーロッパのように 古い建物に手を入れて、もっと長く大切に使う文化 に切り替える必要があるのではないかと？
14	日本が省エネ住宅の施策や導入で他国に 遅れをとってしまった原因 （なぜ差が生じたか）は？
15	規制、強制をせずに、 脱炭素に意識のない市民が、ポジティブに 脱炭素の取組（省エネ、創エネ、蓄エネなど）に取り組んでもらえるにはどのようなことをすればよいでしょうか？それを促すために、脱炭素に意識ある市民にできることは何でしょうか？
16	私はまだ、電気料金を支払ったり住む家を考えたりしたことがないのでテーマが難しかったです。もう少し、講師の先生に 誰でも出来るような簡単な対策 にも触れて頂きたかったです。また、私は武蔵野市の公立小中学校に通っていたのですがあんまり、今回話した内容のことは触れていないのかなって思ったので 家庭科の授業で電気代の事 など触れてあげると理解が深まるのかなと思いました。
17	太陽光発電や、内窓などの設置にかかる 費用の参考資料 があればいいと思います。セールスで電話がかかってきたり、訪問してパンフレットを渡されることはあったのですが、知識が少ないのと業者に対する不信感があって、先に進めませんでした。
18	住宅の 省エネ性能をあげるとコストがどの程度増えるのか、実例 を教えてください。
19	行政単位でエコ住宅施策が上手く普及している事例 があれば教えてください。
20	空調と換気の良いバランス についての、大多数の市民へのマニュアルが必要だと思います。24時間換気を止めたり、給気口を閉めてしまうようなことが冬場には多く、結露やカビを引き起こしているように思います。また、一か所でも窓が開いていると換気されない部屋が出てしまうという盲点もあります。他方、給気口全開にしてディーゼル排ガス粒子で壁が真っ黒になることもあります。

③グループ討議に対する意見等

住まいのエネルギーについて

武蔵野市の緑化事業と省エネ住宅のかかわりを深堀りできるとよかった

自分の家にも取り入れたいけど、結局お金の余裕がないと難しい。
みんなが省エネ住宅に住めるようにある程度義務化することも必要。

市民にとって省エネ住宅がより身近で手の届く物になる施策が一つでも増えることを期待。

「市民と行政と事業者など団体が討論する会議が一番効果的ではないか」という意見が出ており、私は強く共感している。

討議の感想

今回も、色々な意見が出て、議論が活性化されて良かった。

毎回思いますが、普段接することのない方々の意見は多様性に富んでいて、様々な発見があり楽しい。

これまでの検討会が団体代表と有識者で構成されていた。
気候市民会議は「市民」が討論し、画期的だ。

③グループ討議に対する意見等

オンラインについて

毎回、一人ひとりの意見を尊重し、丁寧
に改善している。回を追うごとに場の
雰囲気もよくなっていると感じる。

オンラインの運営はとてもスムーズ。

グループ討議の進め方

各グループ間の交流（検討）ができれば、より良い意見が出ると思う。

グループによって進め方が違う。
グループメンバー、ファシリテーター
を変えてみるとよい。

会場は落ち着いて話合える、会議室の
ような部屋がよい。

「グループ討議に当たっての注意事
項」が守られていない。
注意事項を守らせながら活発な意見
交換を進めるには、ファシリテーター
（FT）の力量が必要。

他のグループの方々とも話したい。
同年代での意見交換も大切だ。

④会議の運営に対する意見等

討議時間が短い

全体で50分では時間が若干足りない。
深い意見交換ができない。

進行役が短い時間でとても適切にまとめ進行しておりよいと思う。

世代を超えた対話はどうすれば深まるのだろうか。傾聴する若い女性が発言できず、傾聴する気配のない中高年男性の発言が9割以上を占める。

質問に応答してもらえなかった。
応答しない理由、あるいはできない理由を提示するのが最低限のマナー。

今回も前回3回目も、質問で挙手しましたが全く無視された。多くの職員の方がいるのに、関係プレーができない態勢とは！本当にガッカリ。

④会議の運営に対する意見等

テーマ別アンケート等について

今まで話しあった内容をどのように取り入れていく予定なのか。説明の時間があるとよい。

最終的に多数決的に決め、政策提言するなら、定量的に可視化し開示した上で、意見集約するべき。

テーマ別アンケートでは、3分野の前提として、総論と武蔵野市の位置づけの分野が欠けていると思う。

アンケートは、現在の市民の生の意見やなどは現在の市民の「肌感覚」で回答される。

2030年、2050年の気候・気象、災害の状況、実施されている緩和策や適応策、国際情勢や内外の経済の要素は考慮されていません。

フューチャーデザインの手法を取り入れ、「2030年の帽子」、

「2050年の帽子」を被った市民、行政の方、事業者の方が討論する場を設けて、その後にアンケートへの記入や提案の提出をお願いするという手法が必要と思います。

④ 会議の運営に対する意見等

第5回会議後について

テーマ別アンケートとこれまでの会議の成果を合わせると「提案」というほどのものになるのか疑問。アンケート・第5回会議・報告書・懇談会がしっかり機能しないと、高い成果が得られない。これからが正念場だと感じる。

この最後の会議が終わった後、どうなっていくのか知りたい。臨時会議を開くことも必要かも。考えを聞きたい。

提案

これから策定する活動プランについても私たち市民が積極的に協力できる場を作してほしい。

気候市民会議に出て、地球温暖化への関心が高まった。市民会議以外にできる活動を紹介してもらいたい。

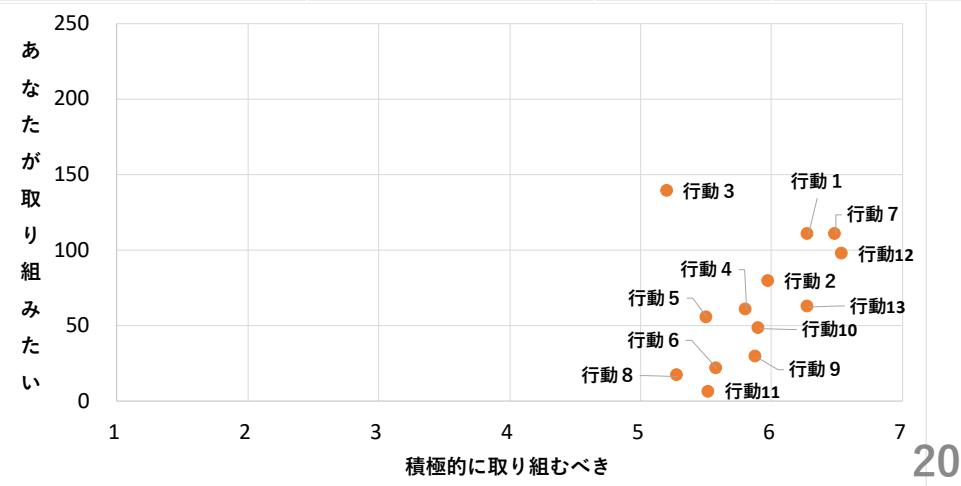
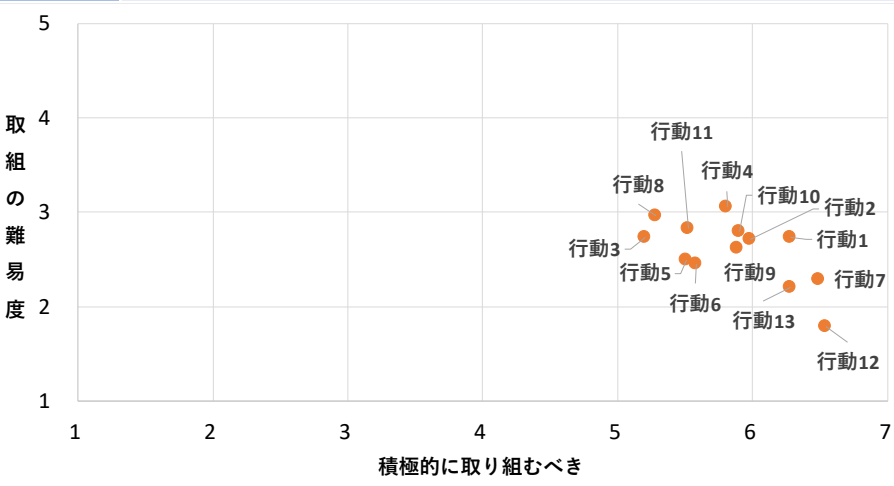
武蔵野市の特徴を活かした脱炭素の取組ができると最高だと思う。多摩地区での脱炭素のトップランナーとなり他に自治体へ影響を与える取組ができるとよい。

アンケート結果報告

第2回「モノを買う・使う・手放す」

全体傾向：p.5
取組が難しいと考える理由
：p.11～19

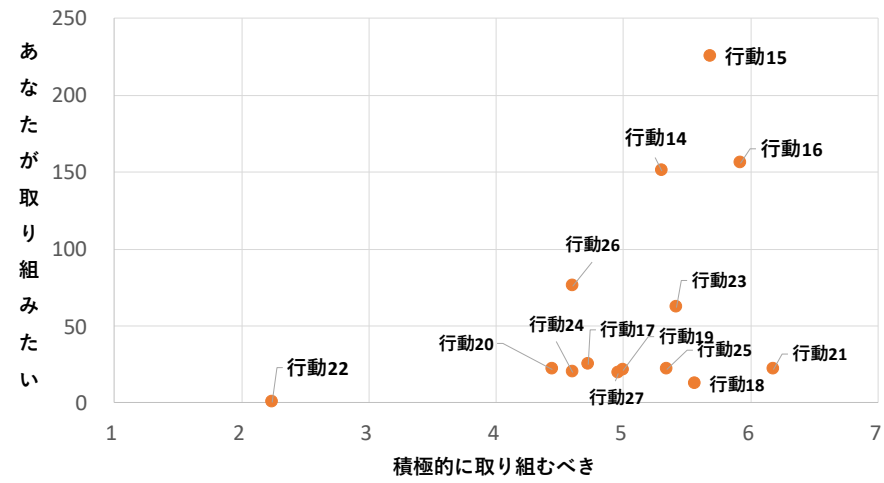
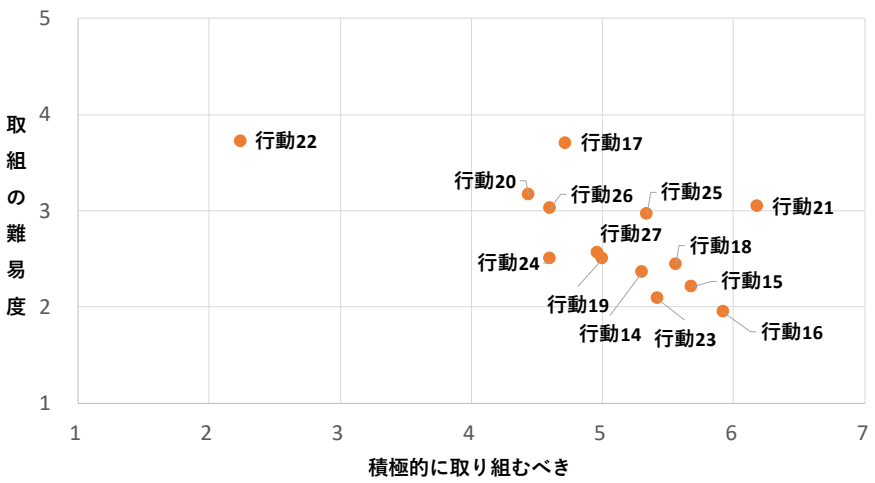
行 動		武蔵野市民が積極的に取り組むべき	取組の難易度	あなたが取り組みたい
1	環境に配慮した製品／サービスを選択する	6.28	2.74	110
2	使い捨てプラスチック製品の購入を控える	5.98	2.72	79
3	消費行動を抑え、必要なモノのみを購入する	5.21	2.74	139
4	生産国など、地域・社会・人に配慮したモノを購入する	5.81	3.06	60
5	国産品や地元の商品を優先して購入する（地産地消）	5.51	2.49	55
6	長く着ることができる衣服を購入する	5.58	2.45	21
7	食品ロスを削減する	6.49	2.28	110
8	生ごみをたい肥として活用する	5.28	2.96	17
9	プラスチック容器、包装の使用を控える	5.89	2.62	29
10	耐久性のあるモノを購入し、修理しながら使う	5.91	2.79	48
11	モノをシェアする	5.53	2.83	6
12	分別して捨てる	6.55	1.79	97
13	不用になったモノを次の人が使える仕組みを利用する	6.28	2.21	62



第3回「動く・働く（学ぶ）・遊ぶ」

全体傾向：p.7
取組が難しいと考える理由
：p.20～26

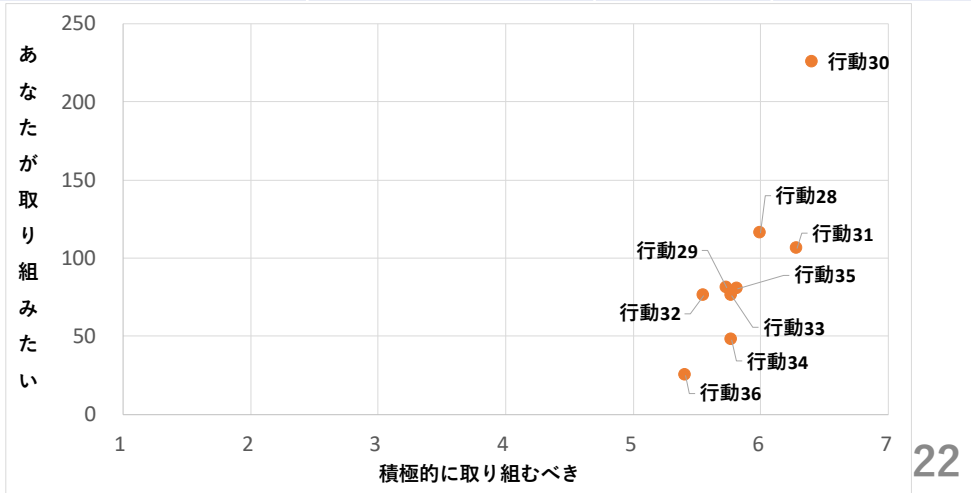
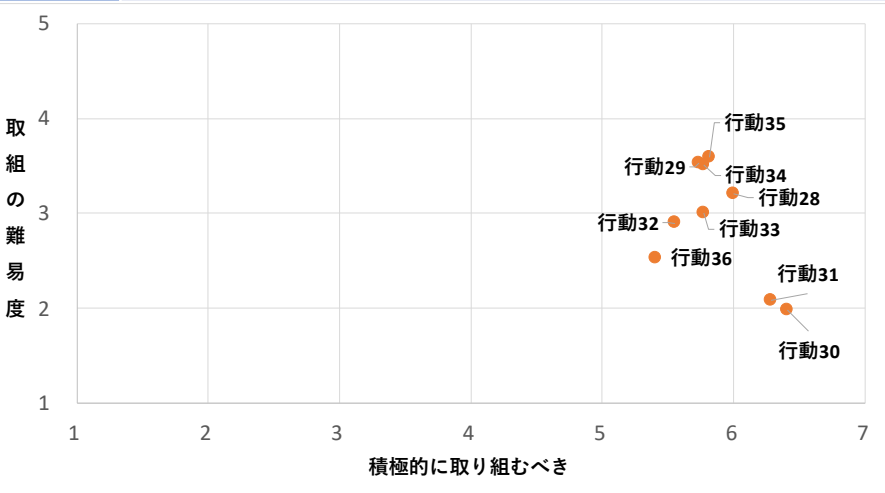
行 動		武蔵野市民が積極的に取り組むべき	取組の難易度	あなたが取り組みたい
14	徒歩で移動する	5.30	2.36	151
15	自転車で移動する	5.68	2.20	225
16	公共交通機関で移動する	5.92	1.94	156
17	電気自動車で移動する	4.72	3.70	25
18	シェアサイクルを活用する	5.56	2.44	12
19	カーシェアを活用する	5.00	2.50	21
20	電動バイクや次世代モビリティなどの新しい乗り物で移動する	4.44	3.16	22
21	CO ₂ 削減に配慮した運送方法を選択する	6.18	3.04	22
22	外出せずに家で遊ぶ	2.24	3.72	0
23	外（自然の中）で遊ぶ	5.42	2.08	62
24	近場（公共の施設など）で遊ぶ	4.60	2.50	20
25	CO ₂ 削減に配慮した遊び方、旅行を選ぶ	5.34	2.96	22
26	テレワーク・リモート授業を行う	4.60	3.02	76
27	シェアオフィスを活用する	4.96	2.56	19



第4回「住まいのエネルギー」

全体傾向：p.9
取組が難しいと考える理由
：p.27～30

行 動		武蔵野市民が積極的に取り組むべき	取組の難易度	あなたが取り組みたい
28	電力を再エネ電気に切り替える	6.00	3.20	116
29	太陽光パネルを設置する	5.73	3.53	81
30	節電する	6.41	1.98	225
31	節水する	6.29	2.08	106
32	省エネ家電に買い替える	5.55	2.90	76
33	電力を可視化する	5.78	3.00	76
34	窓や壁などの家の断熱リフォームを行う	5.78	3.51	48
35	環境に配慮した省エネ住宅に住む（分譲・賃貸）	5.82	3.59	80
36	緑のカーテンなど、家を緑化する	5.41	2.53	25



市の現状と取組の紹介



武蔵野市の温室効果ガスの現状と 地球温暖化対策の取組

2022年11月22日
第5回気候市民会議

武蔵野市の地球温暖化対策の動き

2021年2月

◆ 2050年ゼロカーボンシティ宣言

2021年4月

地球温暖化対策実行計画2021を策定

・市域の温室効果ガスを2050年度までに実質ゼロにすることを明記

2022年4月

地球温暖化対策実行計画2021を改定

2030年度温室効果ガス削減目標を上方修正

2022年7月～

◆ 気候市民会議



(国の動向)

◆ 2020年10月
2050年カーボン
ニュートラル宣言

◆ 2021年10月
地球温暖化対策計画を
改定
2030年度温室効果ガス
削減目標を上方修正



Question
1

武蔵野市域の温室効果ガスは…

増えている



横ばい



減っている



Answer
1

武蔵野市域の温室効果ガスは・・・

増えている



横ばい

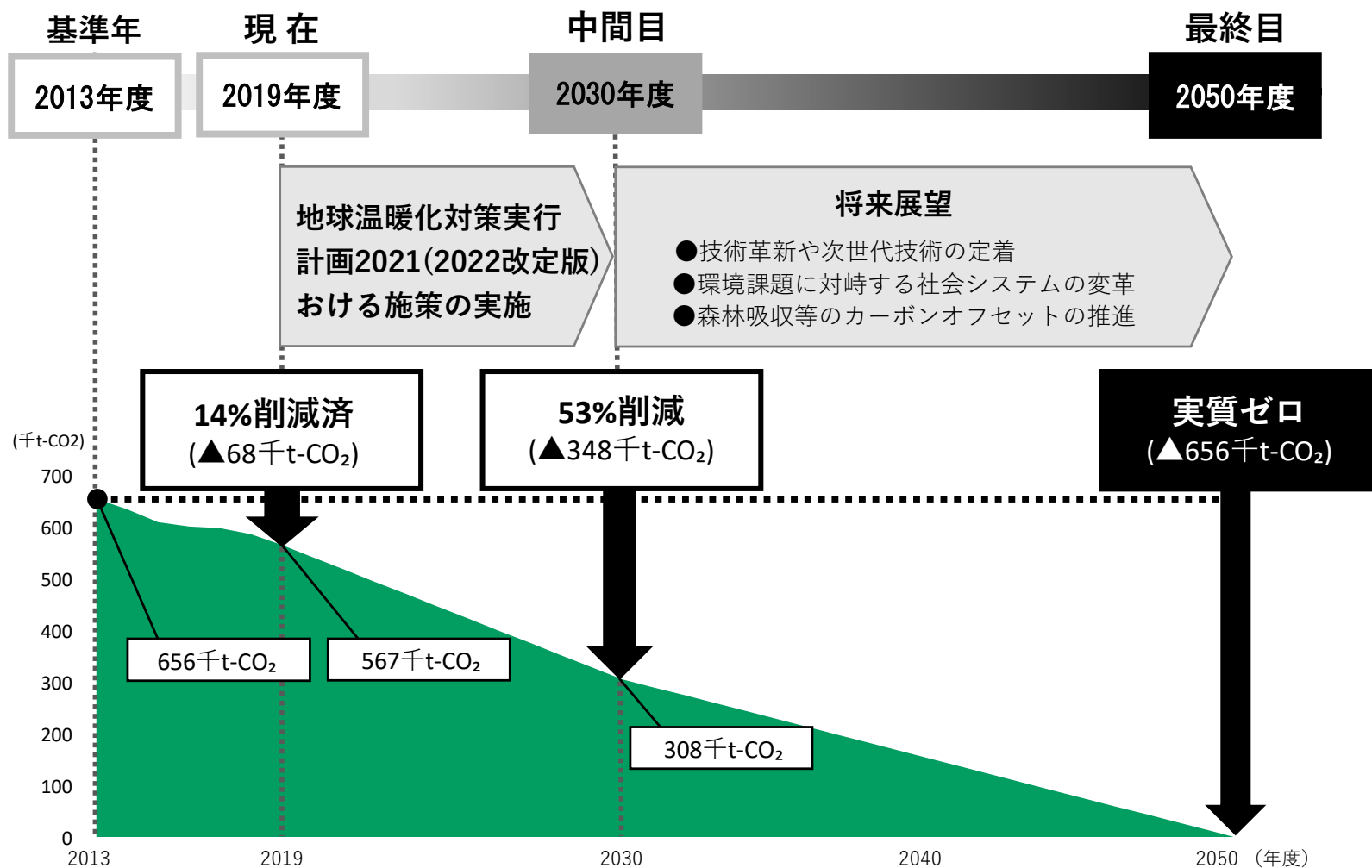


減っている



2050年ゼロカーボンシティへのロードマップ

— 武蔵野市地球温暖化対策実行計画2021(区域施策編)2022改定版より —



Question
2

CO₂(二酸化炭素)排出の一番の要因は…

プラスチック
製品の焼却



エネルギー
使用



動物の
ゲップ



Answer
2

CO₂(二酸化炭素)排出の一番の要因は…

プラ製品の
焼却



エネルギー
使用



動物の
ゲップ



Question
3

エネルギーをたくさん使っているのは…

家庭



運輸



業務



Answer
3

エネルギーをたくさん使っているのは…

家庭



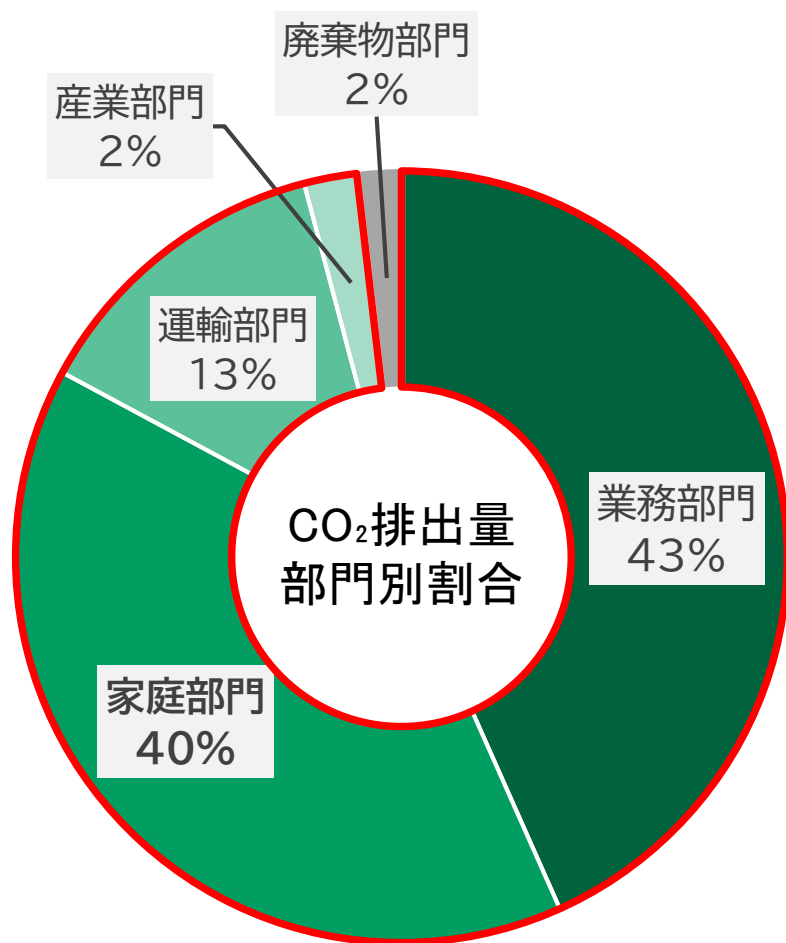
運輸



業務



武蔵野市域におけるCO₂排出量の部門別割合



■武蔵野市から排出されるCO₂(二酸化炭素)のうち、98%(赤枠部分)がエネルギー使用に起因するもの

■エネルギー使用に起因するCO₂排出量のうち、業務部門と家庭部門とで8割以上を占める

2030年度温室効果ガス削減目標の内訳

－ 武蔵野市地球温暖化対策実行計画2021(区域施策編)2022改定版より －

実績値

①

	2013年度 G H G 排出量 【市】
エネルギー使用に伴うCO ₂	607千t-CO ₂
業務部門	254千t-CO ₂
家庭部門	232千t-CO₂
産業部門	39千t-CO ₂
運輸部門	82千t-CO ₂
エネルギー転換部門	
廃プラスチック類の焼却に伴うCO ₂	9千t-CO ₂
その他の温室効果ガス	40千t-CO ₂
メタン	1千t-CO ₂
一酸化二窒素	2千t-CO ₂
代替フロン等4ガス(HFCs等)	37千t-CO ₂
計	656千t-CO₂

②

2030年度 G H G 目標削減率	
【国】	【市】
45.0%	53.7%
51.0%	51.0%
66.0%	66.0%
38.0%	38.0%
35.0%	35.0%
47.0%	
15.0%	15.0%
26.7%	41.8%
11.0%	11.0%
17.0%	17.0%
44.0%	44.0%
46.0%	52.5%

目標値 (中間)

①×(1-②)

2030年度 G H G 排出量 【市】
281千t-CO ₂
124千t-CO ₂
79千t-CO₂
24千t-CO ₂
53千t-CO ₂
8千t-CO ₂
23千t-CO ₂
1千t-CO ₂
2千t-CO ₂
21千t-CO ₂
312千t-CO ₂

※ G H G (Greenhouse Gas)は温室効果ガスの略称

53.0%

308千t-CO₂

家庭
部門

武蔵野市の 二酸化炭素(CO₂)排出量

2030年度までに
あとどれくらいCO₂
減らさないといけないの？

※家庭部門

11万9千^{トン}t-CO₂

2019年度

2030年度

2050年度

CO₂排出量

19万8千

t-CO₂

市の目標値

7万9千

t-CO₂/年

実質 **ゼロ**

参考
武蔵野市の計画書



https://www.city.musashino.lg.jp/shiseijoho/shisaku_keikaku/kankyobu_shisaku_keikaku/1016917.html

2030年度までに、ひとりあたり年間
どれくらい削減すれば
いいの？



約800kg-CO₂

家庭からの年間CO₂排出量

11万9千
t-CO₂

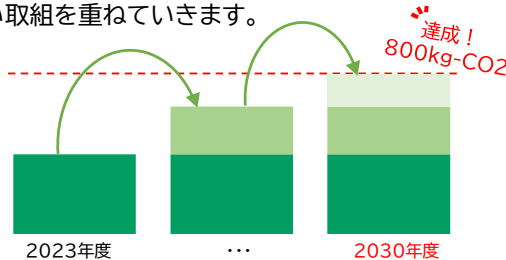
2030年度までに
削減する
二酸化炭素の量



市内人口 約14万8千人
(2022年10月1日時点)

ひとりあたり年間
800kg-CO₂の考え方／

一度始めた取組を毎年継続しつつ、
新しい取組を重ねていきます。

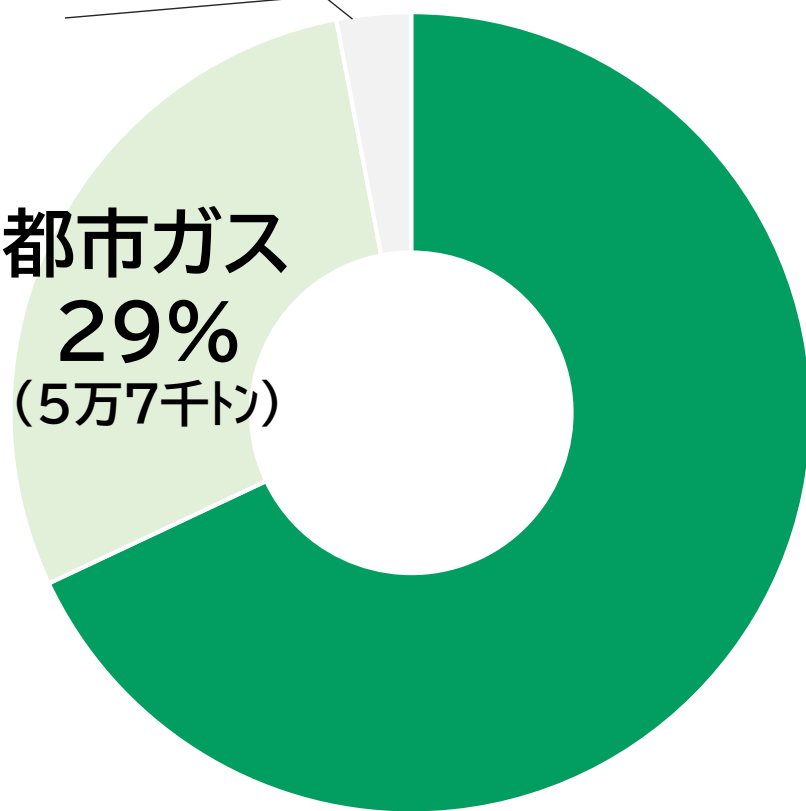


家庭からのCO₂の
原因は？

▶▶ エネルギーの使用

その他(灯油等)
3%
(6千トン)

都市ガス
29%
(5万7千トン)



電気
68%
(13万5千トン)

電気

再エネ100%電気への切替** 1,395kg

具体的なアクションと CO₂との関係*

住宅のエネルギー 編

台所

【冷蔵庫】季節にあわせて設定温度を調整	30.2kg
【炊飯器】長時間保温はせず、使わないときはプラグを抜く	22.4kg
【電気ポット】長時間保温しない	52.6kg

照明

白熱電球からLED電球に交換 45.0kg

エアコン

冷房時の室温は28℃を目安に	14.8kg
暖房時の室温は20℃を目安に	26.0kg
フィルターをこまめに掃除(月2回)	15.6kg



2022家庭の省エネハンドブック

「チョットの工夫で家計も地球も笑顔に」より一部抜粋

https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/home/publishing.files/2022_handbook.pdf



* 数値は年間のCO₂削減量

** 東京電力エナジーパートナー㈱が供給する電力の基礎排出係数に平均モデル年間電力使用量(3,120kWh)を乗じて算出

具体的なアクションと CO₂の関係

モノを買う、使う、手放す／動く、働く(学ぶ)、遊ぶ 編

～ 自らのアクションによって業務・運輸・廃棄物部門等のCO₂削減につながるもの ～

ごみ

ごみの削減(分別収集・3R) 28.8kg
フードロス削減 5.4kg

プラ

バイオマスプラスチック製品の購入 19.2kg

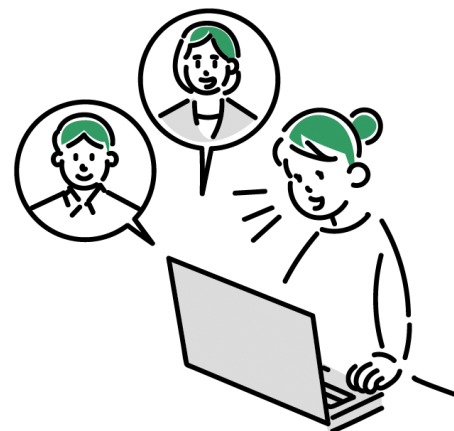


車

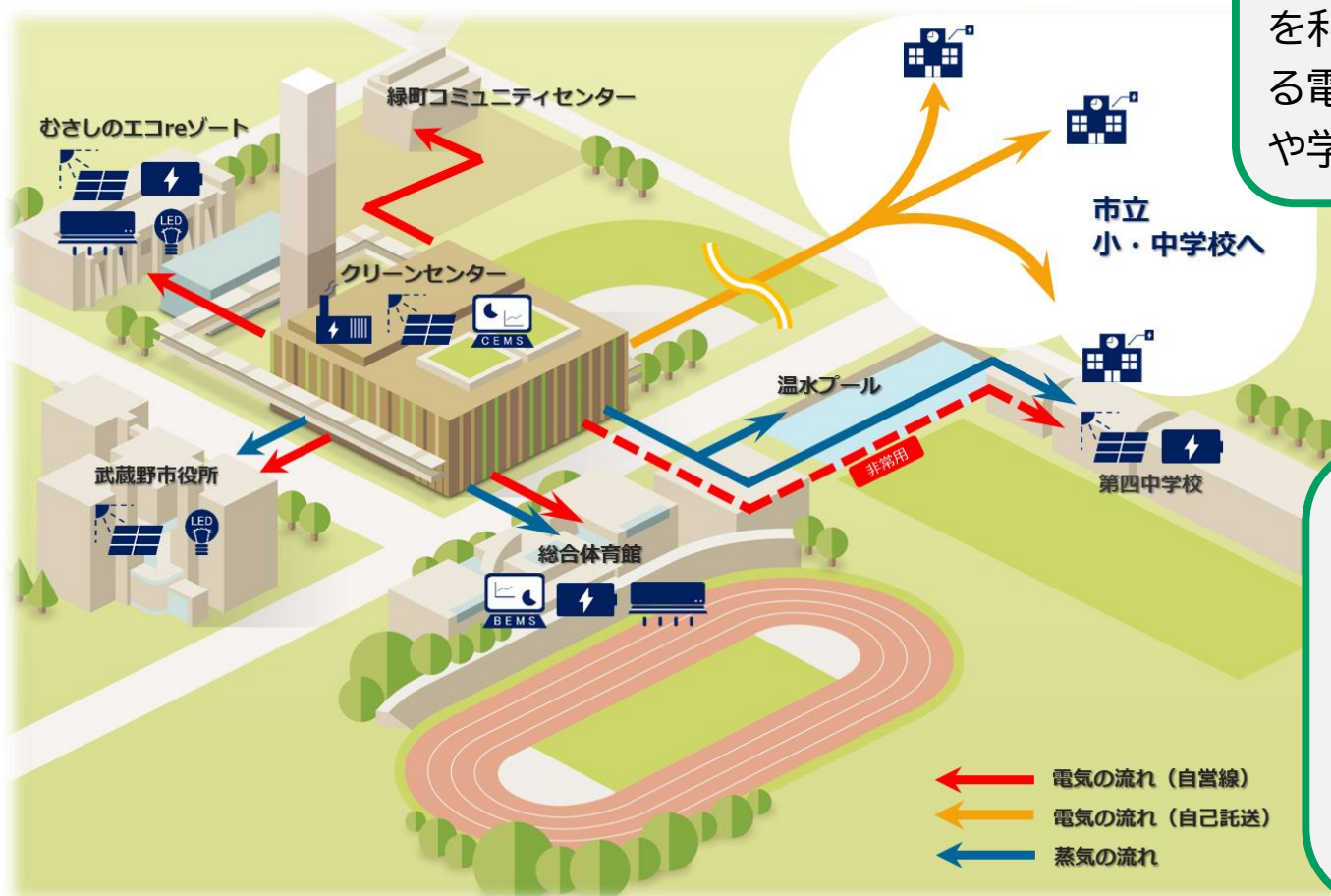
次世代自動車を使用 610.3kg
カーシェアの利用 490.5kg

オフィス 学校

テレワーク(授業)で移動自体を削減 840.3kg
ウォームビズ 2.7kg
クールビズ 5.6kg



エネルギー地産地消 プロジェクト



クリーンセンターのごみ処理で発生した熱や蒸気を利用したごみ発電による電気を周辺の公共施設や学校へ供給

創エネ・蓄エネ・省エネを組み合わせ、スマートにエネルギーの需要・供給の最適な運用を図ることで、年間約1千トンのCO₂排出量削減を実現

市役所

■次世代自動車(EV・FCV等)の導入

ごみ発電による電気を利用し、ゼロカーボンドライブを実現！



■公共施設における環境に配慮した電力の調達

全ての公共施設の100%再エネ化を目指します！



■市独自の公共施設の環境配慮指針に基づく建築 **2023年度開始予定**

建築物のエネルギー消費性能について、高水準のエネルギー利用低減率を目指します！

■「エコオフィスむさしの」の活動推進

職員が取り組むべき省エネ・省資源の活動指針に基づき行動！

(例)クールビス・ウォームビスの期間設定を廃止し、年間を通して職員自らが気温等を考慮し、時分(自分)に合った適切な服装を選択



むさしの“ジブン”スタイル

市民向け



■効率的なエネルギー活用推進助成金制度

太陽光発電設備・エネファームの設置、既設窓の断熱改修に係る費用を助成

■むさしのエコreゾートを拠点とした環境啓発

- ごみ、エネルギー、緑、水など多様な環境情報の発信
- 環境啓発事業などを通じた市民参加の推進
- 環境配慮行動への支援

■ごみ減量の取組

- リユース掲示板「むさしのエコボ」の活用(市内33箇所)
- 食品ロス・レジ袋削減の取組
 - ・スーパー・コンビニと連携した『環境にやさしい買い物キャンペーン』
 - ・TABETE等のフードシェアリングサービスの利用の促進
- 3R連続環境講座・子ども向け環境学習(夏休みごみ探検・出前授業)等の実施
- コンポスター(生ごみたい肥化)購入費の助成



事業者向け

■環境改善整備資金利子補給金制度

中小事業者を対象に省エネ改修・創エネ機器設置等に必要な資金の融資をあっせん



■武蔵野市建築物環境配慮指針に基づく指導

建築確認申請の事前調整の手続きにおいて、市の具体的な基準(断熱化・設備の省エネ化・創エネ設備の導入等の環境配慮事項)に基づいて指導

■2050ゼロパートナー制度

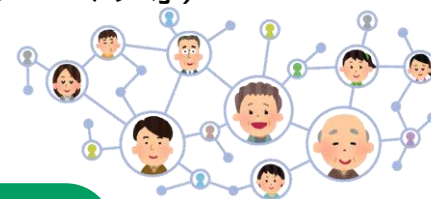
2022年10月スタート



市と連携し地球温暖化対策を推進する事業者・商店会をパートナーとして認定する制度

方針1 市民・事業者・市職員の意識と知識の向上

- エコreゾートを拠点とした環境啓発の推進(様々な主体のネットワークづくり等)
- 気候市民会議の開催と武蔵野市民活動プラン(仮称)の作成
- 環境経営に関する研修会の開催



方針2 地域における効率的なエネルギー利用

- 初期投資が不要な手法による再エネ発電設備導入の推進
- 環境にやさしい電気の普及と切替の促進
- 次世代自動車の導入とV2H・V2B(ビークル・トゥ・ホーム・ビルディング)の推進
- 再生可能エネルギーを活用した地域間連携の検討



方針3 エネルギー分野以外の地球温暖化対策

- 全市的なプラスチック対策の推進
- 緑の保全・創出と多摩産材の活用
- 渋滞緩和策への取組や環境にやさしい移動手段の推進
- カーボン・オフセットの手法の検討



行政は「イチ事業者」としての
責務もあります。



市域のCO₂削減にあたり、

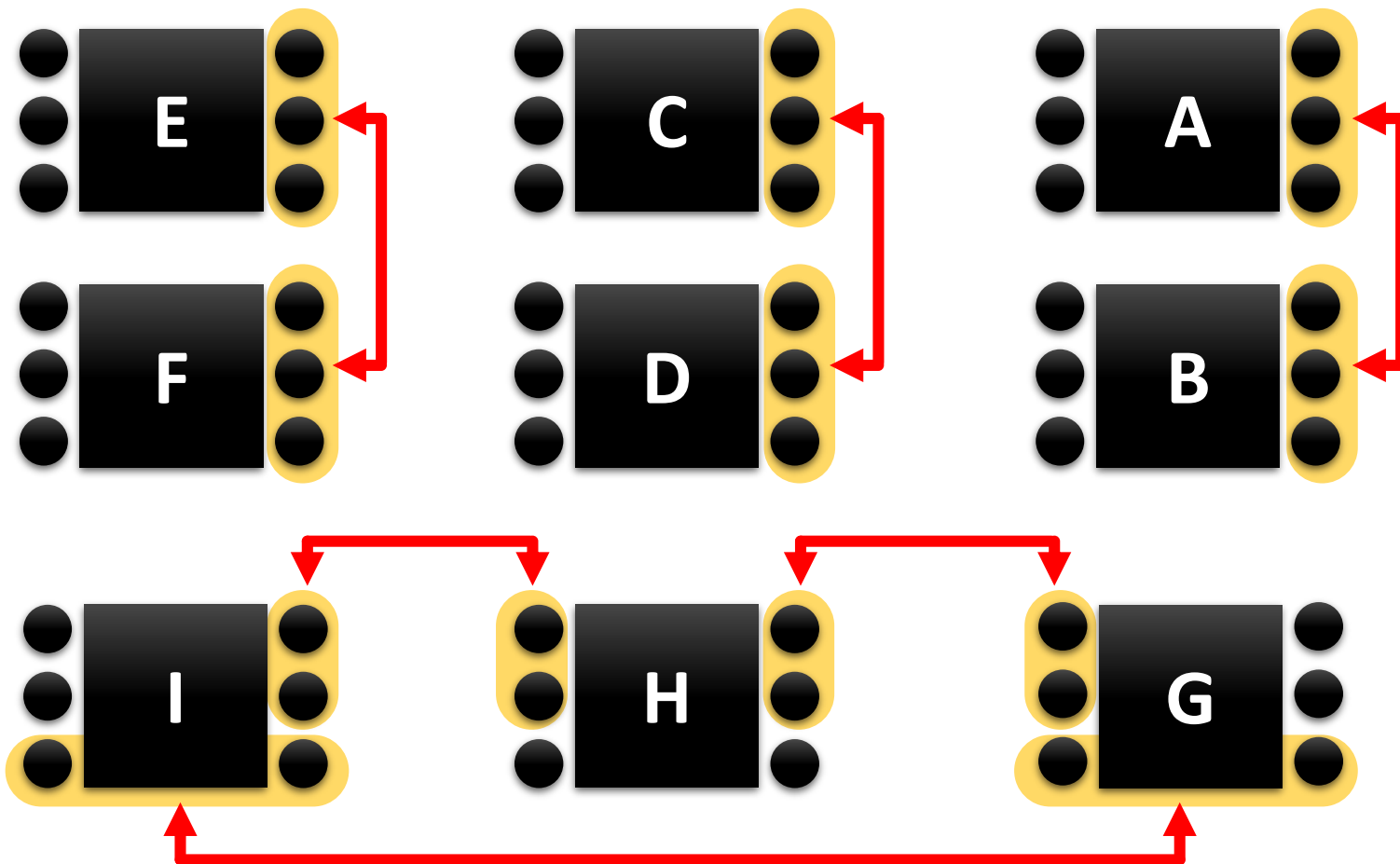
市・市民・事業者が

一丸となり、連携した取組が重要！

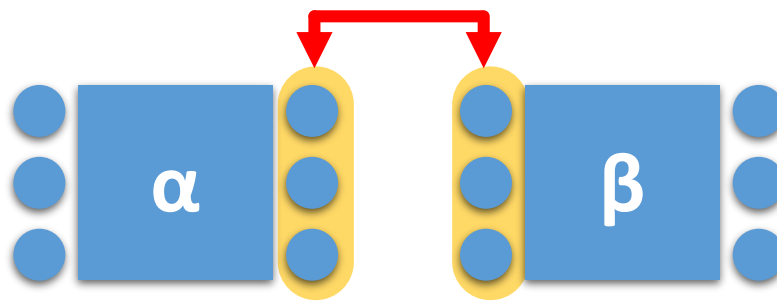
グループ討議

メンバー入れ替え

会場



オンライン



※オンライン班は
自動で入れ替え

グループ討議（第5回会議）

2050年の武蔵野市（脱炭素社会）に向けて、広めていきたい取組

会場

セッション①

お互いインタビュー 【10分】

セッション②

グループ討議 【35分】

オンライン

グループ討議 【45分】

武蔵野市民に
広めたい
取組は？

広めたい
理由は？

後押しするために
必要なことは？

発表 【15分】

セッション①

2050年の武蔵野市（脱炭素社会）に
向けて、広めていきたい取組

お互いインタビュー

10分

19:05
～19:15

武蔵野市民に
広めたい
取組は？

広めたい
理由は？



自分も取り組みたい
と思ったこと...

アンケート結果を
見て...

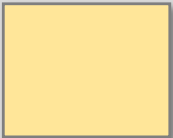
※インタビューシートを使用

インタビューシート

相手の名前、
ニックネーム

武蔵野市民に
広めたい取組

【黄色の付箋】



広めたい理由

【ピンクの付箋】



セッション②

2050年の武蔵野市（脱炭素社会）に
向けて、広めていきたい取組

グループ討議

35分

19:15
～19:50

武蔵野市民に
広めたい
取組は？

後押しするために
必要なことは？



※模造紙を使用

セッション②

2050年の武蔵野市（脱炭素社会）に向けて、広めていきたい取組

35分

19:15
～19:50

1. 他己紹介（1人1分×6～8人）

- 他己紹介
- 発表者を決める（2分以内で発表予定）

2. 武蔵野市民に広めたい取組

- 他己紹介の発表から

3. 「2」を後押しするために必要なこと

- アンケート「取組が難しいと考える理由」（結果報告p.11～30）も参考に

模造紙 () 班

広めたい取組 	広めたい理由 	後押しするために必要なこと 

グループ討議にあたっての注意事項



- ✓対話はキャッチボール
- ✓短く話そう、よく聞こう
- ✓気軽に、市民同士で
直接やり取りしてみましょう
- ✓思いつき、突拍子のない
アイデアも歓迎（自由に発言）
- ✓他の人の発言を否定しない、
さえぎらない、批判しない

Zoom操作（グループ討議）

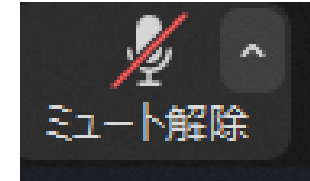
<マイク>

- ・ オフ
- ・ 発言するとき⇒オン

オン



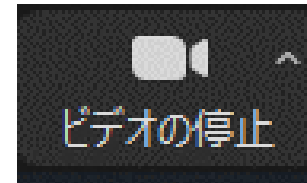
オフ



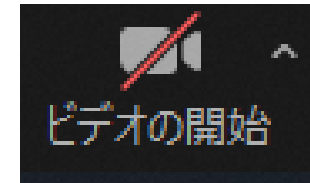
<カメラ>

- ・ オン（ビデオの開始）
- ・ 通信状況が悪いとき
⇒オフ（ビデオの停止）

オン



オフ



<意見提出>

- ・ チャットを使って
意見を送信
(ファシリテータの指示を受け)



送信先: 全員 ▼

ここにメッセージを入力します。。。

発表

総評

振り返り（個人）

振り返り

グループ内で一人ひとり発表
(1人1分×6～8人)

10分

20:15
～20:25

市長メッセージ

その他

事務連絡

1. アンケートの提出

後日、URLをお送りします。

- 回答期限：12月中旬
- 集計結果：後日報告

2. グループ討議の結果、記録動画

- 概ね 1 ～ 2 週間後にWEB掲載（URL）

3. 懇談会の開催

- 2022年 1 月22日（日） 10：00～12：00 予定
- 後日、出欠を取ります

ご協力ありがとうございました

1. 名札返却のお願い（現地参加の方）

- 名札は外してファシリテータにお戻しくください。

2. 報酬のお渡しについて（オンライン参加の方）

- **（現地参加の方）** 受領証に氏名を記入し、ファシリテータに提出してください。クオカードをお渡しします。
- **（オンライン参加の方）** 後日、郵送でお送りします。

3. 写真撮影

- 希望者のみ
- オンラインの方は、ビデオON

閉 会